

## 日本健康社会応援ファンド(愛称：ワクワク・イキイキ)

### コロナショック以降の投資環境と 今後の運用方針について (2021年7月)

2021年7月16日

#### お伝えしたいポイント

- ・ 昨年以降、当ファンドの基準価額は上昇
- ・ 期間A：コロナショックを背景に、デジタル化・自動化・非接触化関連の「健康社会を推進する銘柄」が大きく上昇／期間B：今年に入り一巡感から調整／期間C：足元では再び増勢基調に転換
- ・ 今後も一貫して「健康社会」の維持・発展に寄与する銘柄中心に投資

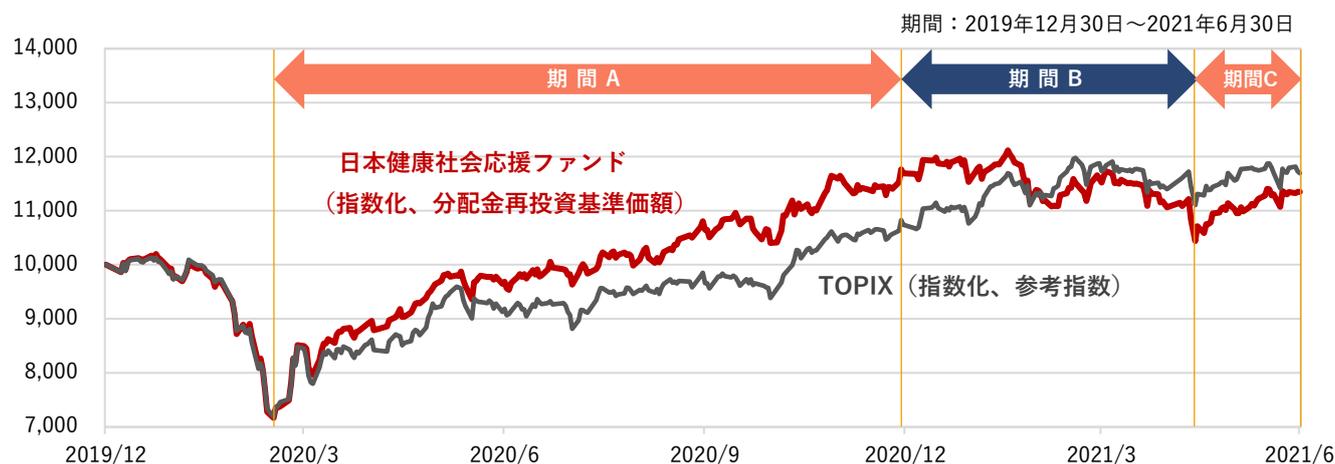
平素は当ファンドをご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドに関する、最近の投資環境や今後の運用方針等をお知らせいたします。

#### 昨年以降、当ファンドの基準価額は上昇

当ファンドの基準価額は、昨年のコロナショック後に大きく回復しました。今年に入り、一巡感から調整しましたが、5月13日から6月末にかけて再び上昇する展開となりました。

#### 当ファンドの分配金再投資基準価額推移 (2019年12月30日を10,000として指数化)



	期間A 2020年3月16日～ 2020年12月30日	期間B 2020年12月30日～ 2021年5月13日	期間C 2021年5月13日～ 2021年6月30日
当ファンドの騰落率	+63.1%	▲10.7%	+8.7%
TOPIXの騰落率	+49.4%	+3.4%	+5.3%

※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。※「当ファンドの騰落率」は「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※東証株価指数(TOPIX)は株式会社東京証券取引所が算出公表などの権利を有する指数です。※TOPIX(東証株価指数)は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。※グラフ上の日本健康社会応援ファンドおよびTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

## 期間A：コロナショックを背景に、デジタル化・自動化・非接触関連の「健康社会を推進する銘柄」が大きく上昇

昨年の国内株式市場は、年初から3月16日にかけてコロナショックの影響で大幅に調整し、その後は年末にかけて、世界的な景気回復や金融緩和策への期待などから上昇が続く展開となりました。

当ファンドが投資対象としてフォーカスしている「健康社会を推進する銘柄」は、非伝統的で革新的なビジネスにチャレンジすることで、高い成長を遂げている企業が中心です。コロナショックを背景に社会やビジネスのデジタル化・自動化・非接触化ニーズが急速に高まる中、以下のような健康社会関連銘柄の保有がプラスに寄与するかたちで当ファンドの基準価額は上昇し、当ファンドの騰落率はTOPIXの騰落率を上回りました。

銘柄名	カテゴリー	関連事業の概要
エムスリー	国民の健康をサポート	医療従事者向けの医療情報サービス事業
ダイフク	生産性の向上を推進	自動倉庫や自動仕分け装置などの物流事業
ソニーグループ	快適な生活環境を提供	ゲーム、映画、音楽事業

## 期間B：今年に入り一巡感から調整

今年に入ってから5月13日にかけては、欧米を中心に新型コロナウイルスのワクチン開発および予防接種がはじまる中で、昨年のコロナショックからの回復期に注目された「デジタル化・自動化・非接触化ニーズの高まりが追い風となった銘柄」が、株価上昇一巡感などから売り優勢の展開となった結果、当ファンドの基準価額は調整しました。

一方で、昨年株価が軟調に推移していた伝統的な産業（エネルギー、自動車、金融など）の銘柄に対して買い戻しの動きが広まったことなどから、TOPIXは堅調な推移となりました。

## 期間C：足元では再び増勢基調に転換

その後6月30日にかけては、再び健康社会関連銘柄が上昇に転じ、当ファンドの騰落率はTOPIXの騰落率を上回る結果になりました。新型コロナウイルスのデルタ株への懸念が高まる中、業績拡大見込みから「デジタル化・自動化・非接触化ニーズの高まりが追い風となった銘柄」が再び買い優勢となったほか、アトピー性皮膚炎治療薬の共同開発・販売に関する契約を米大手製薬会社と締結したと発表した協和キリンや、糖尿病向けインスリン自動投与制御システムの開発が報じられたテルモなど、国民の健康をサポートする医療・介護・医薬品関連銘柄が上昇したことがプラスに寄与し、当ファンドの基準価額は上昇しました。

## 今後も一貫して「健康社会」の維持・発展に寄与する銘柄中心に投資

今後の国内株式市場は、横ばい圏での推移を想定します。新型コロナウイルスワクチン接種の進展が期待される一方、デルタ株への懸念や、五輪開幕後の国内感染状況への不透明感など強弱材料が入り交じる状況が予想されます。米国のインフレ懸念については、市場の折り込みは相当程度進展したとみられ、しばらく新しい材料が出難いと考えています。

当ファンドでは、短期的な相場環境の変化や株価予想のみを銘柄選択の拠り所とせず、「健康社会の進行は長期的に揺るぎない」との信念のもと、健康社会の維持・発展に寄与し、その恩恵を享受できると考えられる企業に投資し、引き続き信託財産の成長をめざしてまいります。

### 健康経営をベースに「健康社会」を推進する銘柄に投資

#### 「健康社会」を推進する銘柄に投資

健康社会：国民の寿命が延びるとともに、長期にわたって心身ともに充実した生活をおくれる社会

##### サブテーマ

#### 国民の健康をサポート

医療・介護  
医薬品など  
医療機器／医療サービス、  
介護施設／高齢者サービス、  
一般医薬品／健康食品・化粧品

##### サブテーマ

#### 生産性の向上を推進

AI・IoT・ロボット・  
ビッグデータなど  
システムインテグレータ／ITコン  
サル、生産支援／物流用機器、ア  
ウトソーシング／ITツール

##### サブテーマ

#### 快適な生活環境を提供

インフラ・  
レジャーなど  
生活・金融・教育・建設インフラ、  
旅行／アクティビティ、  
ゲーム／エンターテインメント

##### ベース・土台

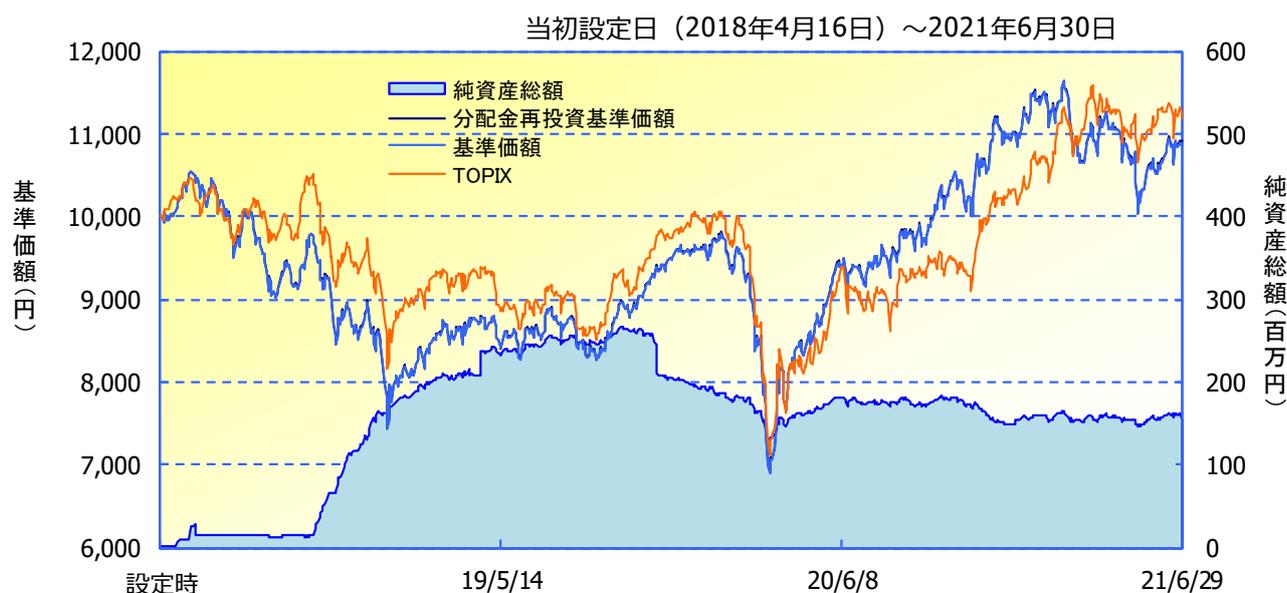
#### 従業員の健康・労働環境を重視

従業員の健康増進、働きやすい環境など  
健康管理サービス／テレワーク・福利厚生、健康経営

## 基準価額・純資産の推移

2021年6月30日現在

基準価額	10,891 円
純資産総額	154百万円
TOPIX	1,943.57



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。  
 ※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。  
 ※TOPIX（東証株価指数）は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考のため掲載しています。  
 ※グラフ上のTOPIXは、グラフの起点時の基準価額に基づき指数化しています。

## I ファンドの目的・特色

### ファンドの目的

わが国の株式の中から、「健康社会」の維持・発展に寄与し、その恩恵を享受できると考えられる企業に投資し、信託財産の成長をめざします。

### ファンドの特色

1. 「健康社会」に着目して投資候補銘柄を選定します。
    - 「健康社会」とは、国民の寿命が延びるとともに、長期にわたって心身ともに健康で充実した生活をおくれる社会です。
  2. 徹底したリサーチにより投資魅力の高い銘柄を選定し、ポートフォリオを構築します。
    - 投資候補銘柄の中から、徹底したボトムアップ・アプローチを重視した個別企業の分析および投資環境の分析を行い、投資魅力の高い銘柄を選定します。
    - 個別銘柄の流動性、株価水準等を考慮し、ポートフォリオを構築します。
    - 投資候補銘柄およびポートフォリオの組入銘柄については、適宜見直しを行いません。
  3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行いません。
    - マザーファンドは「日本健康社会応援マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

## I 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「中小型株式への投資リスク」、「特定の業種への投資リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

## Ⅰ ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限> 3.3% (税抜 3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.573% (税抜 1.43%)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

**大和アセットマネジメント**

Daiwa Asset Management

商号等

大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会

一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和アセットマネジメント株式会社が作成したものです。
- 当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。記載する投資判断は現時点のものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料中で個別企業名が記載されている場合、あくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。
- 分配金は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

## 日本健康社会応援ファンド（愛称：ワクワク・イキイキ） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
呉信用金庫	登録金融機関	中国財務局長(登金)第25号				
甲府信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第215号				
埼玉縣信用金庫	登録金融機関	関東財務局長(登金)第202号	○			
株式会社大東銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第17号	○			
株式会社長野銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第63号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○	○		○
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第52号	○	○	○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。